

会よりのお知らせ

○ 研究グループ募集

平成2年度より設立を希望する研究グループを募集いたします。13巻4号掲載の研究グループ内規をご覧ください。応募締切りは平成元年11月30日(木)、応募および不明な点の照会先は庶務幹事、内川恵二(〒227 横浜市緑区長津田町 4259 東京工業大学大学院総合理工学研究科, 電話 045-922-1111 内線 2521)です。

○ 平成元年度第5回編集委員会

平成元年9月13日(水)に東京、九段の応用物理学会事務所において開催され、会計、論文投稿と審査状況の報告、「光学」各号の編集状況、企画と構想などについて報告と審議が行なわれました。

○ 平成元年度日本光学会名古屋講演会のお知らせ

平成元年12月5日(火)に名古屋、名古屋工業大学において開催されます。詳細は本号662ページの別掲記事をご覧ください。

○ 第16回冬期講習会のお知らせ

「半導体レーザーの現状と新しい展開」のテーマで、平成2年1月18日(木)~19日(金)に東京、六本木の東京大学生産技術研究所において開催されます。詳細については、本号巻末綴込みの案内をご覧ください。なお、参加ご希望の方は平成2年1月8日(月)までにお申込みください。

○ 平成元年度日本光学会北海道講演会のお知らせ

平成2年1月26日(金)に札幌、北海道大学工学部B32講義室において開催されます。プログラム等の詳細については本号664ページの別掲案内をご覧ください。

○ ホログラフィック・ディスプレイ研究グループよりのお知らせ

●平成元年度第2回ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ例会の報告

平成元年8月25日(金)午後2時から6時まで江東区南砂にある丸文(株)南砂事業所で開催されました。当日は「ホログラフィック・ステレオグラムをつかったリッ

プマン・カラーホログラム」(京都工芸繊維大学・久保田敏弘氏)、「ホログラフィー計測の応用例について」(丸文(株)・安間創氏)、「最近のアメリカ、カナダ、ヨーロッパのホログラフィー事情」(ザ・レーザー、小寺光男氏)の3件の講演がありました。残暑厳しいときでしたが約70名が集まり、非常に熱心な質問が続出し盛りある一日でした。また研究会終了後、丸文・南砂事業所の見学が行なわれました。(凸版印刷 岩田藤郎)

●平成元年度第3回ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ例会の予定

日時:平成元年11月17日(金)14:00~17:00

場所:京都芸術短期大学 G31 教室
京都市左京区北白川瓜生山 2-114
電話 075-712-8881 CG 研究室

演題:1. ホログラム記録のためのフォトポリマー
谷川英夫(大阪工業試験所)
2. ホログラフィーの自動車用表示装置への
応用 坂田雅男, 岡林 繁, 等々力強
(日産自動車(株)電子研究所)
3. デザイン教育へのホログラフィーの導入
細沼俊也(大阪芸術大学)

問合せ先:〒280 千葉県弥生町 1-33

千葉大学工学部画像工学科 岡田勝行
電話 0472-51-1111 内線 2874

○ 微小光学研究グループよりのお知らせ

●第34回微小光学研究会の予定

日時:平成元年12月1日(金)13:30~17:00

場所:かながわサイエンスパーク

西棟7F 709 会議室

神奈川県川崎市高津区坂戸 100-1

電話 044-819-2001 (代)

東急田園都市線溝の口または JR 南武線武蔵溝ノ口下車徒歩約15分

演題:1. 国際会議報告(OFS '89)
2. 応用物理学会講演会よりのトピックス

参加費:1,000円(資料およびお茶代を含む)

参加申込:不要(直接、会場にお越しください)

問合せ先:〒151 東京都渋谷区代々木 1-35-5 万田ビル

光エレクトロニクスサロン内

微小光学研究グループ事務局 野口康彦

電話 03-320-0492

または 〒285 千葉県佐倉市六崎 1440

藤倉電線(株)光エレクトロニクス研究所

塩田孝夫 電話 0434-84-2111

○ 光コンピュータ研究グループよりのお知らせ

● 第 33 回光コンピュータ研究会の報告

平成元年 7 月 13 日 (木) から 15 日 (土) にわたり、静岡県農業団体健康保険組合けんぽ長岡保養所において、37 名の参加のもとで合宿形式で開催されました。13 日の参加者全員による自己紹介にはじまり、14 日は、「画像処理と光コンピューティング」(東工大・大山永昭)、「光技術とコンピュータ」(広島大・阿江忠)、「パネルディスカッション—光コンピューティングデバイスの実用化、集積化、システム化に向けて—」(電総研・石原聰ほか)、15 日は、「非線形光学の基礎」(東京工科大・梅垣真祐)「国際会議報告—光コンピューティング関連技術の世界動向—」, 等のテーマで行なわれました。14 日に懇親会も開かれ、参加者同士の親睦もはかられました。

(東大生研 伊藤雅英)

● 第 35 回光コンピュータ研究会の予定

日 時: 平成元年 12 月 1 日 (金) 14:00~17:00
場 所: Tokyo National Club (松下電器関東福祉館)

東京都大田区上池台 4-1-11

電話 03-775-8121

東急池上線長原駅より徒歩 5 分

都営地下鉄浅草線馬込駅より徒歩 15 分

演 題: 1. 光論理演算用半導体デバイス

豊田幸雄, 鶴田 徹, 若林信一 (光技研), 武内喜則, 井戸田 健 (松下電器)

2. 英国ケンブリッジ大学などにおける光デバイス, 光コンピュータの研究

渡辺正信 (電総研)

参加費: 無料

研究会終了後懇親会 (有料) を行ないます。

問合せ先: 〒113 東京都文京区本郷 3-23-1

クロセビア本郷 2 階

(財)日本学会事務センター

光コンピュータ研究グループ事務局

佐原祐子

電話 03-817-5831

なお、本研究会は、電子通信学会情報処理時限研究専門委員会第 7 回研究会と共催です。

○ 第 6 回色彩工学コンファレンスのご案内

平成元年 11 月 15 日 (水)~16 日 (木) に東京、お茶の

水・神田駿河台の全電通ホールにおいて開催予定の第 6 回色彩工学コンファレンス (第 35 回光学四学会連合講演会) のプログラムが決定しました。詳細については 10 号巻末綴込みの案内をご覧ください。なお、参加ご希望の方はお早めにお申込みください。

○ 第 20 回画像工学コンファレンスのご案内

平成元年 12 月 12 日 (火)~14 日 (木) に東京、芝公園の ABC 会館ホールにおいて開催予定の第 20 回画像工学コンファレンスのプログラムが決定しました。詳細については 10 号巻末綴込みの案内をご覧ください。なお、参加ご希望の方はお早めにお申込みください。

○ 日本光学会協賛シンポジウムのご案内

● 理研シンポジウム・計測自動制御学会第 5 回光応用計測部会講演会「新しい光応用技術—表面計測を中心として—」

日 時: 平成元年 11 月 24 日 (金) 10:00~17:10

場 所: 理化学研究所レーザー棟会議室

東武東上線、営団地下鉄有楽町線と光市駅下車徒歩約 15 分

主 催: 理化学研究所光工学研究室

計測自動制御学会光応用計測部会

演 題: ①イントロダクトリー・トーク (理研・山口一郎), ②半導体レーザーを用いる安定化光ファイバー干渉計 (理研・中島俊典), ③TV スペックル干渉計による変位の自動測定 (理研・斉平), ④適応型空間フィルター検出器とスペックル変位計への応用 (小野測器・長山秀徳), ⑤高精度形状測定法 (光スキッド法) (金沢大工・安達正明), ⑥STM による表面研究 (理研・神谷格), ⑦近接場走査顕微測光法 (京大理・岡崎敏), ⑧トンネル接合からの表面プラズモン発生 (東北大通研・上原洋一, 潮田資勝), ⑨表面プラズモン顕微鏡 (理研・岡本隆之)

参加費: 無料

参加申込: 不要 (直接、会場へお越しください)

問合せ先: 〒351-01 埼玉県和光市広沢 2-1

理化学研究所光工学研究室 中島俊典

電話 0484-62-1111 内線 3242

○ 研究助成のご案内

助成団体: (財)日本失明予防協会

研究対象：失明原因の解明および失明の予防ならびに眼
感染症の予防および治療に関する調査研究

資 格：実質的に研究活動に専念でき、研究全体につ
いて責任を持ち得る者とする。

助成金額：年間総額1,000万円（個人研究への助成は
300万円を限度）

研究助成の種類：(1)個人研究への助成
(2)共同研究への助成

助成件数：3件以内

期 間：単年のもの 平成2年3月～3年2月
2年にわたるもの 平成2年3月～4年2月

応募方法：申請者は所定の様式の申請書等に必要事項を
記載し、所属長または大学教授の推薦状をそ
えて、日本失明予防協会事務局まで送付する。

提出締切：平成元年12月末日

問合せ先：〒160 東京都新宿区新宿 1-29-8
公衛ビル3F
(財)日本失明予防協会
電話 03-226-1704 FAX 03-226-5289

○「光学」への投稿について

「光学」へ投稿の際、ワープロを用いて執筆する場合
に限り、必ずしも本会専用の原稿用紙を必要とはしませ
ん。投稿手続き簡略化のため、任意の白紙(A4判)を
用い、1行25字×21行の字詰めで執筆くださって結構
です。ただし、1行の幅がおよそ17cm、始行から終行
までの幅がおよそ22cmになるよう、字間、行間をあ
けて印字してください。「執筆要項」や投稿の際に必要な
「投稿票」は「光学」の第1号に毎年掲載されていま
すので、投稿票はこの複写を用いてください。なお、上
記の書類一式を請求なさる場合は、定形封筒(12cm×
23cm大)に送付先宛名を明記し、72円切手を貼付して
「光学」編集局(〒113 東京都文京区湯島 2-30-9 (財)
学会誌刊行センター内)宛お送りください。折返し、原
稿用紙のサンプルとともに無料で送付いたします。会員
各位の積極的な投稿を期待いたします。

(「光学」編集委員会)

平成元年度日本光学会（応用物理学会）名古屋講演会

日 時：平成元年12月5日(火) 13:00～17:00

場 所：名古屋工業大学附属図書館3F視聴覚室

〒466 名古屋市昭和区御器所町(地図参照) 電話 052-732-2111(代)

主 催：日本光学会（応用物理学会）

協 賛：計測自動制御学会中部支部光センシング技術研究委員会

プログラム：

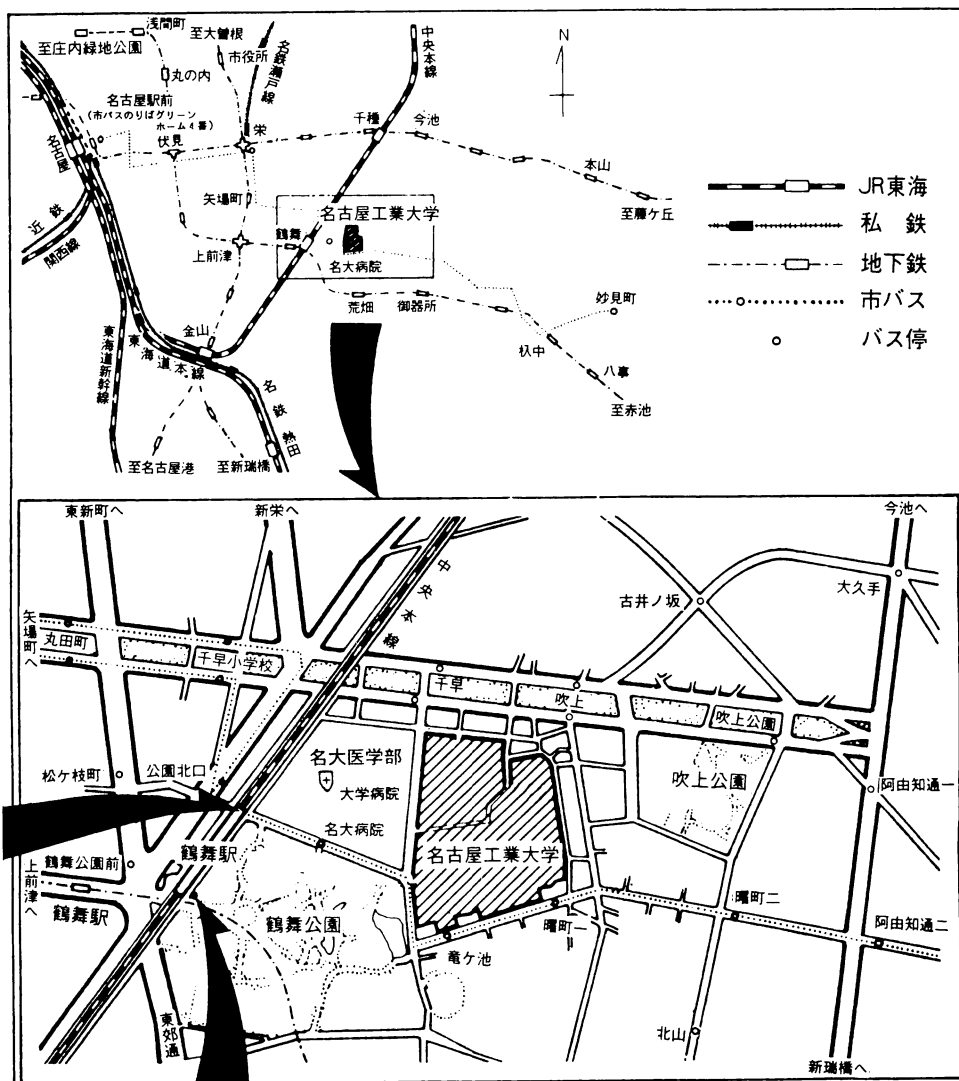
- | | | |
|-------------|-------------------------------------|---------------|
| 13:00～14:20 | 1) ホログラム光学素子とその応用(招待講演) | 日本電気 小野雄三 |
| 14:20～14:50 | 2) 精密位置決め用回折モアレセンサ | 愛知工大 内田悦行 |
| | 休憩(14:50～15:00) | |
| 15:00～15:30 | 3) 光ヘテロダイン干渉法による微細形状測定 | |
| | ブラザー工業 別所芳則, 近藤道雄, 寺本卓司, 藤田一彦, 日野元人 | |
| 15:30～16:00 | 4) 新しいオートフォーカス法による3次元形状計測 | |
| | システム | 豊田工大 芥田友彦 |
| 16:00～16:30 | 5) 光ファイバを応用した表面検査器 | 豊田中研 前田光俊 |
| 16:30～17:00 | 6) ニューラルネットワークによる2次元物体の | |
| | 位置と大きさの表現 | 名大 郷原一寿, 内川嘉樹 |

懇親会(17:30～19:00)

参加費：無料

交通	JR東海	中央本線	鶴舞駅下車 (北口から東へ約 400m)
	地下鉄	鶴舞線(庄内緑地公園 ↔ 赤池)	鶴舞駅下車 (4番出口から東へ約 500m)
	市バス	⑥名古屋駅前 ↔ 妙見町	名大病院下車 (東へ約 200m)
		(⑥は市バスの系統番号)	

問合せ先	名工大	梅野正義	電話 052-732-2111	内線 2568
	豊田中研	松田守弘	電話 05616-2-6111	内線 2421
	名工研	服部 肇	電話 052-661-3161	内線 359



地下鉄鶴舞駅4番出口

平成元年度日本光学会北海道講演会

日 時：平成2年1月26日（金）13：00～16：00

場 所：北海道大学工学部 B32 講義室
札幌市北区北13条西8丁目（地図参照）

主 催：日本光学会（応用物理学会）

協 賛：応用物理学会・電子情報通信学会・計測自動制御学会各北海道支部

プログラム：

- (1) 講演「神経工学と光情報処理—
4光波混合と2光波混合
を中心として—」
藤原裕文（室蘭工業大学
応用物性学科）
- (2) 講演「シミュレーテッド・アニ
ーリングとその画像再構
成への応用」
大山永昭（東京工業大学
像情報工学研究施設）
- (3) 見学 北海道大学工学部数物系
共通講座 大塚研究室

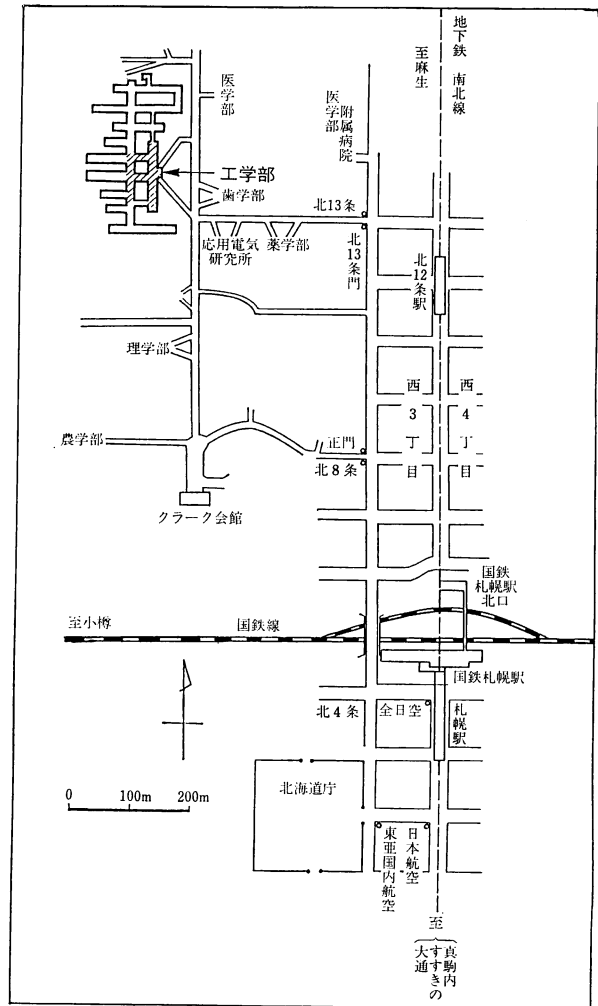
参加費：無料

交通：

- (1) 市内中心部・JR札幌駅より地
下鉄南北線（麻生行）北12条
駅下車徒歩7分
- (2) JR札幌駅北口より徒歩約15
分（約1km）

問合せ先：

〒060 札幌市北区北13条西8丁目
北海道大学工学部応用物理学科
馬場 直志
電話 011-716-2111 内線 6631



北海道大学工学部 交通案内図